

ノースブックセンター様 2021年度のご協力ありがとうございました！

2021年度、コロナ禍2年目も緊急事態宣言やまん延防止措置の中での活動となり、食を囲む場であることも食堂の開催はままならない状況が続きました。引続き食料やお弁当の配布を行ったり、状況をみながら食堂を開催したり、子どもたちのために何が必要か、今自分たちに何ができるのかを悩みながら活動を続けた1年だったように思います。

昨年度はフードバンク八王子として、古書を通して皆さまからたくさんのご支援を賜りました。昨年4月から今年3月まで、66件、620,179円のご寄付をいただきました。それだけでなく、絵本も9回、40箱お送りくださいまして、ほとんどの子ども食堂に提供させていただき、フードバンク八王子の食品配送プロジェクトでも使わせていただきました。

どの子ども食堂でも子どもたちに絵本が人気なので、とても喜ばれています。「子どもたちがたった1冊をすごく真剣に選び、大事そうに持って帰るんですよ」と声が届いています。ゲームやテレビでは得ることのできない読書ということも子どもたちにとって大事な経験と笑顔をいただいています。本当にありがとうございました。

皆さまのあたたかい支えでこの1年、活動を続けることができました。心から感謝申し上げます。

いつもたくさんの食品をありがとうございます



ほっこり食堂
読み聞かせ

すまいるカフェ

なかよし子ども食堂

まだまだコロナ禍の影響は続くことが予想されます。最近では子どもたちへの感染も多いので、子ども食堂の再開を躊躇しているところも数多くあります。それでも2年間、「中止、できない」ことを選択し、その中で、安全に開催できる方法も、地域での必要性も、学んだことがたくさんありました。その経験を活かして、これから続く「with コロナ」の中で、子どもたちや地域の皆さまに安心して来ていただける子ども食堂の開催に向けて、動いていきたいと思っています。今年こそ、皆で食卓を囲み、大きな口を開けて、食べ、話し、笑い合える日常が、また戻ってくると信じて頑張ります。

ノースブックセンター様は、古書を通して、市民の皆さまが気軽に社会貢献できるプログラムに積極的に取り組まれていらっしゃいます。おかげさまで多くの方に子ども食堂やフードバンクの活動を知っていただく機会にもなり、ご支援もいただき、本当に助かっております。

フードバンク八王子でも、子どもたちに、人と人との繋がりのある安心できるまち、地域で育ててほしいと願い、その繋がりを生むツールとしての子ども食堂を大切に、応援をしています。コロナ禍による影響は大きく、貧困だけでなく、様々な問題を抱えた子どもたちが増えていますので、今後も社会的課題と一緒に取り組ませていただきたいと思います。

ぜひ今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年5月 フードバンク八王子